

# Matsuda



町議会サイトは  
こちらから

松田町議会だより

No.229  
2023.2.1



## 新春に向かって 大いにはばたけ!!

松田町ロードレース大会 寄みやま運動広場/'22.12.11

第4回定例会の概要 条例ほか … 2	一般質問 …… 6
討論 (条例) …… 3	第2回・第3回臨時会の概要 …… 11
補正予算・同意・発議 …… 4	特定議員視察報告 …… 12
議案審議結果一覧 …… 5	住みやすい町を目指して⑤② …… 14

# 令和4年 第4回定例会

会期 12月6日(火)～13日(火)

12/6	一般質問 齋藤議員・井上議員 寺嶋議員・平野議員 南雲議員 唐澤議員	(P6) (P7) (P8) (P9)
12/7	一般質問 古谷議員 田代議員 議案審議等 議案12件(新規条例・条例改正・土地 貸付・指定管理)	(P9) (P10)
12/8	議案審議等 議案8件(補正予算) 委員会審査 総務文教常任委員会(条例・補正予算)	
12/9	委員会審査・調査 総務文教常任委員会(条例・補正予算) 産業厚生常任委員会	
12/13	委員会審査・調査 議会改革推進委員会 総務文教常任委員会(補正予算) 議案審議等 委員会報告2件(条例)、議案1件(同意)、発議1件(決議)	

第4回定例会は、12月6日から13日までの8日間の会期で開催されました。条例(新設2件・一部改正5件)、土地の貸付1件、指定管理者の指定4件、補正予算8件、同意1件、発議1件を審議しました。

このうち、総務文教常任委員会に3議案(新設条例2件、追加提案の補正予算1件)を付託して審査をしましたが、追加提案の「令和4年度松田町一般会計補正予算(第7号)」は、継続審査となりました。

「発議第2号 松田町議会ハラスメント防止条例、規程等の委員会設置に関する決議の提出について」を議員全員により可決し、委員の選出を行いました。(詳細はP4をご覧ください。)

その他定例会の概要を掲載します。

## 条例

### ▼松田町個人情報保護に関する法律施行条例

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律(令和3年法律第37号)において、個人情報保護に関する法律(平成15年法律第57号)以下「新法」が改正され、令和5年4月1日以降は、新法による全国共通の規定が直接適用

されることから、現行の松田町個人情報保護条例(平成14年松田町条例第24号)を廃止し、新法の施行に際して必要となる法で委任された事項等を規定するため、提案されたものです。

総務文教常任委員会に付託し、慎重に審査を行いました。

審査の結果、賛成全員で可決し、本会議でも可決となりました。

### ▼松田町情報公開・個人情報保護審査会条例

情報公開制度及び個人情報保護制度を一体的に運用するとともに、事務の合理化等を図るため、従来の情報公開審査会機能と個人情報保護審査会機能を統合し、令和5年4月1日より適用される改正後の個人情報保護に関する法律(平成15年法律第57号)に規定する

専門家からの意見を聴き、個人情報保護についての諮問対策を講じるための諮問

を行う機関として、松田町情報公開・個人情報保護審査会を設置するため、提案されたものです。

総務文教常任委員会に付託し、慎重に審査を行いました。

審査の結果、賛成全員で可決し、本会議でも可決となりました。

### ▼松田町固定資産評価審査委員会条例等の一部を改正する条例

行政手続きにおける町民の負担軽減等を図るため、原則として押印を省略することを定めた本町の方針に基づき、各種手続きにおける押印を不要とするほか、所要の改正をするため、提案されたものです。

### ▼松田町課設置条例の一部を改正する条例

町の重要課題等に対応するほか、業務の公平性及び効率化を図るため、所要の改正をするため、提案されたものです。

### ▼松田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、職員の給与について所要の改正をするため、提案されたものです。

### ▼松田町現業職員の給与の種類及び基準に関する条例を廃止する条例

『松田町現業職員の給与の種類及び基準に関する条例』の適用を受ける職員が不在となったことから、本条例を廃止するため、提案されたものです。

### ▼松田町議会議員及び松田町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

公職選挙法施行令の一部改正に準じて本町の公費負担額の限度額を引き上げるため、所要の改正をするため、提案されたものです。

# 議案第41号 松田個人情報の保護に関する法律施行条例【討論】

## 反対討論

寺嶋 正 議員

松田町個人情報の保護に関する法律施行条例について反対の立場から討論を行わせていただきます。個人情報保護法が改正され、全国共通の規定が直接適用されることから、施行条例は限定な条文になっています。

自治体の従来条例ではその目的として、「個人の尊厳の確保」や「基本的人権を擁護すること」等が挙げられていました。改正された国の個人情報保護法の目的では、個人の権利利益の保護は「個人情報の適正かつ効果的な利活用」に重点が置かれており、個人情報の取り扱いそのものが変化しています。さらに、個人情報の収集は本人から収集するなどの制限、目的外利用・外部提供の制限、オンライン結合の制限など大幅に緩和されていると捉えています。

町は匿名加工情報の利用を行わないとしています。当面行わないのであって政令市は行うと聞いています。また、一般市町村に対してはできる規定が適用され問題です。個人情報保護法の改正で、個人情報を氏名を削除するなどして「仮名加工した情報」を利用に条件を付けたうえで、開示・利用停止請求について個人情報ほど厳密な取り扱いをしなくてもよいとし利用の義務が緩和されました。このようなことで行政が持つ個人情報を民間事業者に提供する可能性は十分に考えられ、情報漏洩の懸念はぬぐえません。以上で反対討論を終わります。

## 賛成討論

古谷 星工人 議員

議案第41号 松田町個人情報の保護に関する法律施行条例について、賛成の立場から討論を行います。

個人情報の保護に関する法律の改正にともない、国の行政機関、独立行政法人、地方公共団体等において、それぞれ個人情報保護に関する規定・運用等に相違があったものを今回の法改正により、すべての機関が新法による規定に基づき個人情報保護制度を運用していくこととなります。

現行の松田町個人情報保護条例を廃止し、松田町個人情報の保護に関する法律施行条例を制定するものです。

廃止される現行の松田町個人情報保護条例は松田町個人情報の保護に関する法律施行条例（新条例）にて規定されるもの、松田町情報公開・個人情報保護審査会条例（新条例）にて規定されるもの、個人情報の保護に関する法律（新法律）にて規定されるもの、また、廃止されるもの（新条例にも新法律にも規定しないもの）に分類されて、新条例が制定されます。

新法施行後は、これまでの地方公共団体が条例等で規定し、解釈、運用していた事項について、専門的な知見を有する個人情報保護委員会に一元化されることにより、個人情報保護制度に関する水準の全国的な底上げが期待されます。

具体的な効果として、大規模災害時における自治体間の連携が期待されること。

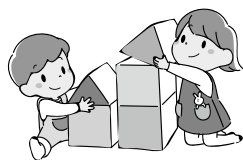
また、現行条例では規定されていない個人情報ファイル簿について、作成と公表が義務付けられたことにより各行政機関でどのような個人情報を保有しているか把握することが可能となります。

以上、賛成討論とします。

このページは、討論者本人の原稿を尊重し編集しています。

## 土地貸付

▼土地の無償貸付について  
令和5年3月31日をもって松田さくら保育園の土地使用貸借契約の期限を迎えることから、引き続き社会福祉法人西さがみ福祉会における保育所の安定的な運営ができるよう土地を無償貸付するため、提案されたものです。



## 指定管理

▼松田町寄ふれあい農林体験施設の指定管理者の指定について  
令和5年4月1日から令和10年3月31日まで、株式会社DASを指定管理者に指定するものです。

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで、株式会社DASを指定管理者に指定するものです。

▼松田町寄自然休養村管理センターの指定管理者の指定について

▼松田町寄みやま運動広場の指定管理者の指定について

▼松田町寄テニスコートの指定管理者の指定について

以上の3施設を令和5年4月1日から令和6年3月31日まで、有限会社みやまの里を指定管理者に指定するものです。

## 補正予算

▼令和4年度松田町一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ11億9,877千円を追加し、予算総額を59億1,840万円とするものです。

主な内容は、歳入が新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など、歳出は人件費の増減補正や、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業など、

生涯学習センター指定管理委託料における債務負担行為の補正などをするものです。

▼令和4年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

主な内容は、特定健康診査委託料における債務負担行為の補正をするものです。

▼令和4年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ1億4,961千円を減額し、予算総額を4億7,247千円とするものです。

主な内容は、歳入が財政調整基金繰入金、前年度繰越金、歳出は会計年度任用職員給与費などの補正をするものです。

▼令和4年度松田町上下水道事業会計補正予算(第3号)

主な内容は、電気料金高騰に伴う動力費の補正

をするものです。

▼令和4年度松田町寄簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ2億2,744千円を追加し、予算総額を5億4,097千円とするものです。

主な内容は、歳入が一般会計繰入金、前年度繰越金、歳出は光熱水費の増額補正をするものです。

▼令和4年度松田町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ6億9,966千円を追加し、予算総額を2億6,641万9千円とするものです。

主な内容は、歳入が前年度繰越金、歳出は酒匂川流域下水道事業維持管理費負担金の増額補正をするものです。

▼令和4年度松田町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ52万

1千円を追加し、予算総額を11億6,662万3千円とするものです。

主な内容は、歳入が一般会計繰入金、歳出は職員給与と費、システム負担金などの補正をするものです。

▼令和4年度松田町一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出それぞれ3億1,339万円を追加し、



大規模改修予定の松田中学校

予算総額を62億3,179万円とするものです。主な内容は、歳入が学校施設環境改善交付金、教育債、歳出は松田中学校整備事業に係る工事請負費などの補正をするものです。

総務文教常任委員会に付託の上、継続審査となりました。

## 審議の結果

採決の結果は、5ページをご覧ください。

## 同意

▼教育委員会教育委員の任命について

任期満了に伴い、次の方が同意(再任)されました。

宮田 恭子 氏

## 議会ハラスメント防止条例、規程等の委員会の設置

▼発議第2号 松田町議会ハラスメント防止条例、規程等の委員会設置に関する決議の提出について

議会基本条例に基づく開かれた議会とするため議員のなり手不足等の課題解決や、多様化する社会に合わせた議会の活性化へと繋げていくことを

推進するため設置するもので、唐澤議員が提案者となり、本会議に提出し、賛成全員で可決されました。

なお、議長を除く全議員が委員会の委員となりました。

委員長 齋藤 永  
副委員長 寺嶋 正

# 議案審議結果一覧

## 第4回定例会（12月議会）

○…賛成 ●…反対 可…可決 同…同意

議案等番号	議案等	議員名(議席順)	審議結果	唐澤	古谷	内田	平野	田代	井上	南雲	中野	齋藤	寺嶋	大館
				一代	星人	晃	由里子	実	栄一	まさ子	博	永	正	秀孝
議案41	松田町個人情報の保護に関する法律施行条例（総務文教常任委員会報告）		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案42	松田町情報公開・個人情報保護審査会条例（総務文教常任委員会報告）		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案43	松田町議会議員及び松田町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案44	松田町固定資産評価審査委員会条例等の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案45	松田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案46	松田町課設置条例の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
議案47	松田町現業職員の給与の種類及び基準に関する条例を廃止する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案48	土地の無償貸付について		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案49	松田町寄ふれあい農林体験施設の指定管理者の指定について		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案50	松田町寄自然休養村管理センターの指定管理者の指定について		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案51	松田町寄みやま運動広場の指定管理者の指定について		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案52	松田町寄テニスコートの指定管理者の指定について		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案53	令和4年度松田町一般会計補正予算（第6号）		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案54	令和4年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案55	令和4年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第1号）		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案56	令和4年度松田町上水道事業会計補正予算（第3号）		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案57	令和4年度松田町寄簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案58	令和4年度松田町下水道事業特別会計補正予算（第1号）		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案59	令和4年度松田町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案60	令和4年度松田町一般会計補正予算（第7号）		総務文教常任委員会に付託、閉会中の継続審査											
発議 2	松田町議会ハラスメント防止条例、規程等の委員会設置に関する決議の提出について		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 3	教育委員会委員の任命について		同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 飯田一議長は採決には加わらない。

# 一般質問

# ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。



町では、一般質問の録画映像をYouTubeにて公開しています。

スマートフォン等をご利用の方は、各議員のQRコードを読み取りご覧ください。パソコン等から視聴される方は「松田町議会 YouTube」と検索していただくと、ご覧いただけます。



令和2年の国勢調査によれば、社会構造の変化により、核家族化が一段と進み、町内の65歳以上の独居または夫婦のみの世帯は全体の3割近くとなっている。また、全人口に占める高齢者の割合も35%を超えるなど、超高齢化社会への取り組みは今まで以上に重要となってくると思う。そこで以下の点について伺います。



質問者  
齋藤 永 議員

## 地域共生社会の実現に向けた 高齢者福祉施策を問う



- (1) 高齢者福祉に関する松田町のビジョンは？
- (2) 介護保険サービスの提供体制について。

### 福祉の充実を図ります

A



回答（町長）

(1) 75歳以上の高齢者が今後5年ほど増加していくと予測している。地域包括ケアシステムの取組を確実に推進し、相談支援

介護予防をはじめとする施策を展開し地域共生社会の実現に向け、「元氣あふれる心かよう」長寿を意旨「まち松田」をビジョンとする。

(2) 高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき介護サービスを安定的に提供する。3年毎の改定で、8期目となる計画は対象者の増加を見据え、制度の持続可能としつつ、介護サービスの新規参入の促進や既存の事業者の支援、人材育成などを行い、適正サービスの質と量の確保をしていく。

福祉施設のレクリエーション風景



このページは、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。

# 空き家対策強化と 関係人口創出事業を問う

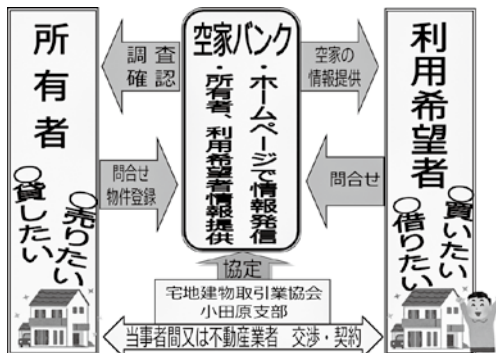


質問者  
寺嶋 正 議員



(1) 空き家は増加傾向にあるが、民間団体と連携して空き家の発生を抑え、有効活用を進める仕組みづくりを伺う。また、実態調査、所有者等の調査、空き家バンク制度の活用や空き家の居住希望者と不動産業・所有者とのマッチングを支援する取り組みは。

(2) 関係人口創出事業では、地域と様々な形で関わる人々を増やし、まちづくりの課題に関わることでできる仕組みを作るとされており、地域の活性化を担う人材や移住・定住人口の増加などをめざす取り組みと成果について伺う。



## 空き家の利活用を 促進する移住相談所 設立

回答 (町長)



(1) 県司法書士会、町社会福祉協議会、県宅地建物取引業協会と連携し、空き家の発生予防として啓発用リーフの作成や空き家予防講演会を実施。実態調査及び居住希望者や所有者とのマッチング支援は、「空き家対策モデル事業」により、利活用を促進する「移住相談所」を設立。

空き家は139軒あるので、予防対策を役場内のワーキングチームで取り組む。

(2) 地域の魅力を紹介し、耕作放棄地などの課題解決に向けた意見交換を行うツアアや、寄地区の自然環境を活かした動画作成など実施。

令和4年度は、町の魅力をテーマにしたワークショップや地域の森林資源を活用したイベントを予定。自然環境、人材、景観等の地域資源を十分に活用し人口増加策に取り組む。

# 松田町のICT・DXの推進、 新松田駅周辺整備事業について



質問者  
井上 栄一 議員



来年度予算編成について、各事業の具体化に向けた予算編成が進められていると思われます。そこで、次の項目についてお伺いします。

(1) 国の自治体DX推進計画が示され、県内市のいくつかは住民のためのICT・DX行政を推進している。町のICT・DXの推進構想・計画・考え方、来年度に向けた施策について伺います。

(2) 新松田駅周辺整備事業は準備組合設立を目指し地権者検討会で事業説明・検討が行われていますが、いまだ駅周辺整備に対する地権者の個別の意向・考え方が見えていません。再開発区域の範囲決定や準備組合設立に

向けた来年度以降の新松田駅周辺整備事業推進に対する町の対応・考え方を伺います。再開発区域の範囲決定や準備組合設立に向けた来年度以降の新松田駅周辺整備事業推進に対する町の対応・考え方を伺います。

## DXの推進・ 新松田駅周辺整備事業 について

回答 (町長)



(1) DX行政は民間の対

応を考え官民連携でやっていかないと進まない。町民サービスの向上を目指す中でどのような仕組みを導入するかは町民サービスの充実を図って協議会を立ち上げ修正しながら随時諮っていく。

(2) 駅周辺整備事業の進捗は、新型コロナウイルス感染症や国際社会での経済的な影響がある中、地権者や公共交通事業者はもとより町民や商工業者など多くの関係者にご協力を賜りながら、これまで通り事業の完遂に向け強い信念を持って取り組んでいく。

今後の準備組合・本組合の設立、都市計画決定などは、皆様方のご意見をもちに進めていくという姿勢は今後も変えない。

**DX (デジタルトランスフォーメーション) とは**

デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革することを指す。

# 町民の安心のために



質問者  
南雲 まさ子 議員



(1) 前立腺がんや膀胱がんの術後の方は、排尿のコントロールができないために尿漏れパッドを使用される方が増えてきていると言われています。その方々が安心して外出できるように、町の公共施設等の男性トイレにサニタリーボックスの設置をしていくお考えは。

(2) AEDの使用が1分遅れるごとに、救命率は10%ずつ低下すると言われています。1人でも多くの町民の方が、AEDを使用できるようにするための講習会は、どのように行われていますか。また傷病者が女性の場合、AEDを使用する際に胸部をおおう三角巾を使用することで、ためら

うことなくAED使用に応じる事ができます。三角巾をAEDの付属品として配置するお考えは。

## A サニタリーボックスの設置・三角巾の配置を進める



回答 (町長)

(1) 公共施設を安心して利用するために、サニタリーボックスを設置することは大変重要なことである。本町では、役場庁舎の男子トイレと多目的



役場2階に設置されているAED

トイレ、生涯学習センター・健康福祉センターの男子トイレに設置済みである。残りの町有施設にも今年度中に設置していく。

(2) 小田原市消防本部主催のAEDの個人向け講習会は年2回開催され、今年は7月と10月に開催し24名が参加している。AEDの周知を進めるため、防災訓練の時、消防本部のAED講習会の開催や、ホームページに使用方法の動画を掲載すること等を検討していく。三角巾は、女性疾病者のプライバシー保護だけでなく応急手当に活用できる。今年度中にAED設置の27箇所に三角巾を配置していく。

# 食におけるSDGsと地球の健康と私たちの健康について



質問者  
平野 由里子 議員



食におけるSDGsはフードロス問題だけではないと考えお尋ねします。(1) 町はフードロスについて啓発をしていますが、完全する事によって食べ過ぎになると健康に良くない結果をもたらす場合があります。食べ過ぎることを呼びかけるなら、同時に作りすぎない事、持ち帰りができる事を呼びかけるべきですが、こうした取り組みはされていますか。

(2) 広報11月号の町長エッセイにおいて地産地消が推奨されていましたが、学校給食における現状は？またさらに踏み込んでオーガニック給食をめざすお考えは？(3) 図書館の図書購入費

は平成26年度から令和3年度の8年間で減り続けています。電子図書についても休止したままです。今後の方針をお聞きします。

## A 食における持続可能性にも取り組みたい



回答 (町長、教育長)

(1) 家庭だけでなく飲食店にも、「食べきる」と同時に「作り過ぎない・調節できる・持ち帰りができること」も呼びかけたい。また塩分や野

町図書館こどもコーナー



菜摂取量などについても啓発していく。(2) 地産産の定義は県内産で、現状は県内産54.3%、町内産9.4%で県平均より良い。有機食材については生産者が少なく今は困難だが、食育や環境など総合的課題として検討したい。(3) 蔵書予定数をはるかに超過しており購入方法を見直してきた。電子図書も利用者が増が見込めず休止し、その後業者側に広域化の可能性を打診しているが進捗はない。雑誌については購入寄付の実現に向け要項を作成中である。コロナ禍で利用者は減少傾向にあるので、丁寧な発信に努めたい。



# 子育て支援の更なる充実に ついて問う



質問者  
唐澤 一代 議員



(1) 文部科学省の調査によると、全国の小・中学校の不登校児童・生徒数は増加傾向にある。松田町における現状と、今後不登校特例校分教室を開設するお考えは。

(2) 災害時の対策として、防災ガイドライン等に、妊産婦及び避難所で産まれた新生児に対する応急処置等の詳細を記載するお考えは。

(3) 保育園の給食に地場産業（足柄茶等）の食材を取り入れることにより、食育の推進や郷土愛の向上、営農者支援にも繋がります。全体的な活性化が期待できるが町としてのお考えは。



コスモス館（地元の野菜等販売）

ている。現状では不登校特例校分教室を開設する意向はないが、先進的事例を参考に、状況に応じた丁寧な支援・指導をしていく。

(2) 令和3年6月に作成した「松田町避難所運営マニュアル基本モデル」においては、妊産婦を要配慮者と位置付けているが、避難所で産まれた新生児に対する応急処置等については記載がない。令和5年度に地域防災計画等の改定を予定しているため、改定内容に盛り込んでいく。

(3) 様々な相乗効果が生まれ地域課題の解決にも繋がると期待できる。積極的に地場産の食材を取り入れて頂くよう引き続き推進していく。

## 先進事例等も参考に 改定や推進していく

回答  
(教育長、町長)



(1) 当町においては「ほほえみ教室」と呼ばれる教育支援センターを、平成13年度に設置し対応し

# 「熊」出没による住民の 安全対策について



質問者  
古谷 星工人 議員



「熊」の出没が相次ぎ、9月以降、虫沢地区では目撃、萱沼地区、弥勒寺地区では監視カメラに記録されており、いつ「熊」と出会うか危険な状況です。

次のことについてお伺いいたします。

(1) 神奈川県内および足柄上地域の「熊」の生息状況はどうなっていますか。

(2) 地域住民の安全確保対策はどのように考えていられますか。

## 危機感をもって 対応する

回答（町長）



(1) 県内のツキノワグマ生息頭数は、平成24年の推計では約40頭となっている。

足柄上地域の正確な生息数は把握できていない。県内全域の目撃情報における足柄上地域割合は高い比率で推移しており、相当数が生息すると思われる。

(2) 熊の出没は町民の生命・財産への脅威であるため、同報無線や安心メ

ール等により注意喚起を行う。同法無線での放送は熊の目撃、確認用カメラに映り込みを確認してから放送している。

ツキノワグマは絶滅危惧種I類に指定されているため基本的に保護が前提となっている。

出没を減らすための対策として家庭ごみの屋内保管、農地の適正管理などを徹底、熊に遭遇した場合の対処方法の啓発に努める。

地域住民の理解と猟友会、神奈川県と連携し危機感をもって対応する。

寄地区に出没したクマ



# 令和5年度予算の農林業施策に対する町独自の支援策について



質問者  
田代 実 議員



(1) ジビエ処理加工施設は猟友会への委託を念頭に、令和5年1月から運営される。加工された猪肉と鹿肉は、小田原・箱根の事業所やJA直売所への売り込みを行うとのことであるが、その進捗状況と特産品としての販売戦略は。

(2) 農業振興策の一つに新たな作目を考えているとのこと。一方、松田・寄地区の荒廃農地解消のため、農地にクヌギなどを植栽できる。そこで、町独自の施策としてレモンやオレング、クヌギなどを植栽する補助制度の創設については。

(3) 松田町ではツキノワグマが出没している。町は地域住民の命を守るた

め、熊の餌の資源となるブナやコナラなどを生息地に植栽するよう地権者や関係団体に指導し、支援策を推進することは。

## 令和5年度予算の農林業施策に対する町独自の支援策について



回答 (町長)

(1) JAかながわ西湘とは特産品化や販売に関する契約を締結して進めている。

小田原・箱根の事業者などへの営業活動は、県

根石地区に完成したジビエ処理加工施設



内初のジビエ処理加工施設のため、安全で良質なジビエを安定的に供給していく。

(2) 荒廃農地を防止し、環境・安全面に配慮するため、レモンやオレング類、クヌギなどの植栽について、関係機関の知見を参考に、農業委員会と連携して進めていく。

(3) 里山における森林環境の向上を図り、放棄果樹や家庭ゴミの撤去を行う。

熊の生息地である奥山に餌資源となるブナやコナラの植栽については、松田町だけの問題でないので山間地を抱える近隣市町と連携して進めていく。

このページは、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。

## 議員参加研修報告

▼第66回町村議会議長全国大会 (全国町村議会議長会主催)

・日時 令和4年11月9日(水) 12時～14時30分

・場所 NHKホール

・内容 地方自治の精神と原則に立ち、住民自治に基づく個性と活力に満ちた町村の実現を期するため、各種要望、決議等を行いました。

・特別講演講師 外交政策研究所 代表 宮家 邦彦 氏

・講演テーマ 「最新の国際情勢と日本経済に与える影響」



▼自治功労者表彰式・町村議会議員研修会 (神奈川県川崎町議会議長会主催)

・日時 令和4年11月10日(木) 13時15分～15時30分

・場所 愛川町文化会館

・表彰内容 県内町村議会議員8名が表彰(11年以上議員として地方自治の発展に功績のあった者)されました。

・研修会講師 歴史家・作家 加来 耕三 氏

・研修会テーマ 「歴史を学び、未来を読む」



▼足柄上郡町村議会議長会議員研修会

足柄上郡町村議会議長会議員研修会を各町で分散して開催しました。

・日時 令和4年11月22日(火) 13時30分～15時30分

・場所 役場4階 大会議室

・講師 静岡大学防災総合センター 特任教授 岩田 孝仁 氏

・講演テーマ 「想像力の欠如に陥らない防災」



以上議員として地方自治の発展に功績のあった者)されました。

研修会講師 歴史家・作家 加来 耕三 氏

研修会テーマ 「歴史を学び、未来を読む」

で何が起きるのか、様々な知見や科学的リテラシーを使って想像力を持ち、確実に備えておくこと

## 新潟県加茂市が本町を視察

10月17日に、加茂市議会の産業建設常任委員会委員5名と執行部1名、議会事務局1名が、松田町を視察研修に訪問され、薪ボイラーの運用整備について視察をされました。

## 佐賀県多久市が本町を視察

10月20日に、多久市議会の総務文教委員会委員6名と執行部1名、議会事務局1名が、松田町を視察研修に訪問され、松田町空き家発生予防事業について視察をされました。

### 第2回臨時会

10月19日に第2回臨時会を開催し、補正予算1件を審査しました。

#### ▼令和4年度松田町一般会計補正予算(第4号)

新型コロナウイルス感染症総合対策事業、価格高騰緊急支援給付金、次世代応援特別給付金、健康福祉センター加圧給水ポンプ更新工事、寄口ウバイ園施設管理経費(事業用備品購入費)などの事業費の補正予算として、歳入歳出それぞれ867万5千4百円を増額し、予算総額を59億641万3千円とするものです。

### 第3回臨時会

11月22日に第3回臨時会を開催し、補正予算1件を審査しました。

#### ▼令和4年度松田町一般会計補正予算(第5号)

ジビエ処理加工施設の追加工事費に伴う事業費の補正予算です。

## 第2回臨時会 (10月19日)

○…賛成 ●…反対 可…可決 欠…欠席

議案等番号	議案等	議員名(議席順)	審議結果	唐澤	古谷	内田	平野	田代	井上	南雲	中野	齋藤	寺嶋	大館
				一	工	晃	由	実	栄	ま	博	永	正	秀
議案39	令和4年度松田町一般会計補正予算(第4号)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 第3回臨時会 (11月22日)

議案40	令和4年度松田町一般会計補正予算(第5号)		可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
------	-----------------------	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※ 飯田一議長は採決には加わらない。

## 議員との意見交換会について

意見交換会は、各種団体やグループを対象に「まちづくり」について議員と話し合いを行うものです。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため人数を制限して予約制で、次のとおり募集します。

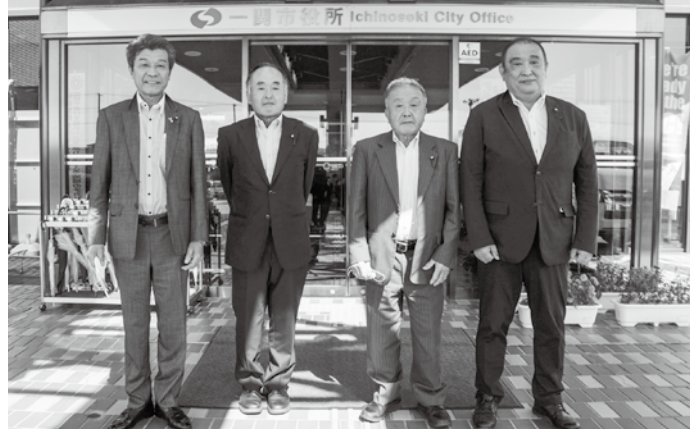
- 1 テーマ 応募団体等が希望するテーマ
- 2 場所 松田町役場会議室
- 3 人数 各種団体・グループ・事業所・NPOほか15人程度まで
- 4 申込み 松田町議会事務局  
電話0465-84-1335

※募集は随時受け付けています。



# 視察報告

日時 令和4年9月28日～29日  
 参加者 大館 秀孝、齋藤 永、井上 栄一、田代 実  
 視察場所 岩手県紫波町、盛岡市、一関市



## 岩手県紫波町 オガールプロジェクト

岩手県紫波町は、岩手県の中央、東北本線の3駅を有し、面積238.98km<sup>2</sup>、人口3万3千人、1万2767世帯、高齢化率31.04%。基幹産業は農業。循環型まちづくりで環境と福祉の町づくりに取り組んでいる。  
**オガールプロジェクトの経過・背景・要素**

地元負担での新駅設置により紫波中央駅が開業したが、新駅西側の土地10.7haは公債費上昇などで利用計画は塩漬け。平成21年紫波町公民連携計画基本計画を策定。議決、町有地を活用し公共施設整備と民間施設等立地による複合開発を目的とし、オガールプロジェクトが始動。  
**公民連携の町づくり**  
 前町長の政策、キーマン岡崎正信氏らによる公民連携の町づくりが展開。環境や景観に配慮したま

ちづくりのため町有地を活用し、公共施設整備（町役場庁舎・図書館）と民間施設建設（オガール施設や木造の分譲住宅地など）による経済開発。そしてこれら建築事業等を町内の事業者で請負つという複合開発を行った。不動産開発は、家賃の相場からテナントの誘致。施設の必要面積からボリュームを設定、着工時入居率を100%として設計・工事契約という逆アプローチ手順で開発を行い、小リスクの事業を目指し、その通り完成した。

**「オガール」の感想**  
 オガールプラザ情報交流館の年間利用者は35万人、それ以外産直売り場も平日でも盛況だった。紫波中央駅前整備への前町長の思いが公民連携を軸として町長と議会・民間のキーマンとで、官民複合施設が完成したことは、前町長だけではなく、町職員・議会に加えて民間の思いが結合した

結果であった。紫波町は今後、旧庁舎側の日詰地区の開発が課題だと説明されたが、現在のオガールプラザ地区の熟成と共に反対側の日詰地区も官民連携した第2のオガールが生まれ、後々も北東北の注目すべき一自治体になると感じた。  
 【説明者 オガールプラザ 八重嶋氏（元紫波町部長）】  
 （記・井上栄一）

## 岩手県 盛岡駅西口開発事業

盛岡駅西地区の開発事業の手法と事業費  
 ◎土地区画整理事業 303億1248万円  
 ◎まちづくり交付金事業 66億1043万円  
 ◎密集住宅整備促進事業 23億5千万円  
**総事業費 392億7291万円**  
**1 駅西口開発事業概要**  
 (1) 平成3年度～4年度  
 ・施行区域の都市計画決定、総合整備計画承認

結果であった。紫波町は今後、旧庁舎側の日詰地区の開発が課題だと説明されたが、現在のオガールプラザ地区の熟成と共に反対側の日詰地区も官民連携した第2のオガールが生まれ、後々も北東北の注目すべき一自治体になると感じた。  
 【説明者 オガールプラザ 八重嶋氏（元紫波町部長）】  
 （記・井上栄一）

きたことが大きな要因。盛岡市の人口は28万人、県内で近い規模の平塚市は25万人余りで、財政規模での比較では平成3年度から22年の歳月をかけ、西口開発事業が完了した平成25年度の一般会計予算1033億円に対し平塚市は1715億円だ。  
 盛岡市は、財政的には余裕はない。その駅西口開発事業の総事業費は392億円だが、松田町の駅周辺整備事業費は149億円である。しかし、町の工事期間は12年で盛岡市の半分である。人口1万人の財政力の小さな町で、その事業費の大半を占める再開発ビル20億円の建設については、慎重に取り組む必要があると考える。  
 （記・大館秀孝）

**2 土地区画整理事業**  
 (1) 施行者 盛岡市  
 (2) 面積 35.6ha  
 (3) 期間 平成5年度～平成31年度  
 (4) 減歩率 43.1%  
 (公共34.8%、保留地8.3%)  
**3 視察の感想**  
 北東北最大の駅前再開発事業を推進できた理由は駅西側に広大な旧国鉄の敷地があり、国鉄清算事業団から盛岡市が開発事業用地の大半を取得で

これ以外に一関市「協働推進ホームページ」輪っしよい「WEB」も視察しましたが、紙面の都合で割愛します。

# 議員行政

日時 令和4年11月15日～16日  
 参加者 飯田 一、寺嶋 正、南雲まさ子、平野由里子、  
 内田 晃、古谷星工人  
 視察場所 長野県伊那市、塩尻市



## 塩尻地域新Maas・ 自動運転実証 プロジェクト

市民の移動手段として  
 持続性の高い地域公共交  
 通構築のために「交通手  
 段をまとめて、より便利  
 な移動手段を実現する」  
 本プロジェクトを導入し、

拠点内移動のオンデマ  
 ンド化と拠点間移動を自動  
 化させ、双方をシームレ  
 スに接続する「塩尻Ma  
 as（マース）」として  
 官民連携体制で運営する  
 こととなった。

### これまでの実証実験

① バス型自動運転車両  
 自動運転技術の向上に  
 資するデータの取得と自  
 動運転車両に対する地域  
 の社会需要性の向上等を  
 目的に、塩尻市内の一般  
 公道において高精度3次  
 元実証実験を実施した。  
 ② タクシー（乗用車）  
 型自動運転車両  
 自動運転技術の向上に  
 資するデータの取得等を  
 目的として、タクシー

（乗用車）型の自動運転  
 車両を用いた走行実証実  
 験を実施した。バス型自  
 動運転の実験とは異なる  
 ルートで走行するととも  
 に、一部の路線では自動  
 運転による実証実験も行  
 った。

③ AI活用型オンデマ  
 ンドバス

AI活用型オンデマン  
 ドバス「のーと塩尻」  
 は、利用者が乗りたい時  
 にアプリや電話で呼べる  
 新しい「乗合バスサービ  
 ス。令和4年4月1日か  
 ら「のーと塩尻」が本  
 格運行へ移行すること  
 となった。

（令和3年度有償実証運  
 行の主な実績 総乗客数  
 8883人、アプリ登録  
 者2661人）

### 今後の実証運行の予定

持続可能な地域公共交  
 通を実現するためのマス  
 タープランとして、「塩  
 尻市地域公共交通計画」  
 を令和3年7月に策定し  
 た。市街地ゾーンとその  
 周辺の既存集落区域まで

の拠点間移動については  
 鉄道および地域振興バス  
 でスムーズな移動を確保  
 し、市街化ゾーン内の移  
 動は地域振興バスまたは  
 オンデマンドバスでカバ  
 ーし、生活利便施設への  
 アクセス向上を目指して  
 いる。

オンデマンドバスへの  
 転換については、令和3  
 年から7年にかけて中心  
 市街地循環線、塩尻東線、  
 みどり湖・東山線広丘駅  
 循環線、塩尻北部線、片  
 丘線の6路線について段  
 階的に実証運行を行い、  
 地域振興バス路線との代  
 替が可能か否かを検証し  
 ていく。

### まとめ

民間の路線バスの減便、  
 寄地区の住民の生活向上  
 や移動手段の確保、観光  
 などで松田町にお越しに  
 なる方々の移動手段の確  
 保など、移動に対する  
 様々なニーズや重要性が  
 高まっている。

（記 寺嶋 正）

## 伊那小学校の 特徴

通知表がない学校、総  
 合学習に力を入れている  
 学校として知られる。3  
 年間クラス替えはなく、  
 原則、担任も同じ。

中庭や校舎周りに、ポ  
 ニー、豚、山羊、羊など  
 の動物たちがいて小屋も  
 ある。動物はクラスごと  
 に飼っていて、何を飼う  
 かは児童が決め、小屋も  
 柵も子どもたちが作る。  
 ベっこう飴、和菓子を、  
 豆腐、パン、ラーメンな  
 ど食べ物系のテーマのク  
 ラスもある。またウズラ  
 や蚕といった小さな生き  
 物を選んだクラスは教室  
 で飼っている。パンがテ  
 ーマのクラスの習字は  
 「天然酵母」とか「発酵」  
 とか書いてある。

支援級は畑で野菜を育  
 っているが、普通級のテ  
 ーマ活動と一緒に入る子  
 も多く、自然にインクル  
 ーシブ教育が成り立って  
 いる。

（記 平野由里子）

教師はテーマに沿った  
 活動が指導要領のどれに  
 当たるのかを見通しなが  
 ら学習計画を作る。活動  
 では勉強しきれないこと  
 は教科書を使う。教科書  
 を使わなくても、指導要  
 領を満たせば多様な学び  
 は可能なのだ。

市内には小規模特認校  
 やICTに力を入れる学  
 校もあり、伊那市の移住  
 施策は教育と連動してい  
 る。プロモーション動画、  
 SNSなど駆使して移住  
 情報とともに教育情報も  
 発信し、コロナ禍でもオ  
 ンライン見学会などを実  
 施している。

### まとめ

多様な教育の一例とし  
 て、貴重なものを視察さ  
 せて頂いた。特色ある教  
 育を目指していけば、選  
 んで移り住む人も現れる  
 と希望を感じることがで  
 きた。

（記 平野由里子）

インクルーシブとは 支援教育の理念のもと、共生社会の実現に向け、すべての子どもが、できるだけ同じ場で共に  
 学び共に育つことをめざす。（神奈川県HPより）



## 住みやすい町を目指して... 52

# バレーボールを通じて 仲間との絆を大切に

とみおか ひろこ  
富岡 博子さん(店屋場在住)

中学・高校とバレーボールに明け暮れていたのは遠い昔の事です、高校を卒業後社会人となり、会社のクラブチームにも所属し週に2~3日終業後は同僚達とバレーボールを楽しんでいました。

しかし、結婚を期に会社を辞めその後はボールを触る機会も無くなってしまいました。毎日子育てに追われている時近所に住む女性と色々話すようになり、その方も昔バレーボールをされていたらしく、機会があったら又やりたいとのことでした。

それから話がとんとん拍子に進み、バレーボールの経験は無いが何かスポーツをしたいと同じ思いを寄せている主婦の皆さんが集まるようになり、昭和52年ママさんバレーボールチーム「鮎」を結成しました。当初はストレス発散?位の気持ちで皆始めていたのですが、週2日の練習で日を追うごとに上達し対外試合も好成績を収める様になり、上郡総合体育大会にも参加できる様になりました。

その頃には町のママさんバレーボールチームも5チームと増え、各チーム共切磋琢磨しお互い良い刺激となって行きました。

当時の町民バレーボール大会も各行政区(現自治会)からも多くの参加があり男女混合チームと特別ルールを設けることにより、大変にぎやかで楽しい大会となっていました。その他町民体育大会、ソフトボール、バトミントン、卓球大会等スポーツで町が一番活気づいていた時であったように思います。

しかし、その当時主婦が子供を家族に頼み週2日夜家を空けるというのは大変なことで特に夫の理解がなければ出来ないことでした。

現在バレーボールチームも松田地区2チーム、寄地区1チームと減少してしまい、また、スポーツ協会も努力されているようですが各種スポーツ大会も廃止や参加チームも減少しているとのことでした。

今「鮎」チームでは私が最年長となってしまいましたが、体は以前のように動かせませんが気力は衰えていないつもりです。チームの皆さんとの

絆も昔のままです、近年家庭環境も大きく変化している中新たな部員確保に苦慮しています。バレーボール未経験者の方も大歓迎ですので私たちと一緒に健康増進として体を動かしてみませんか。



チーム「鮎」のみなさん

町議会広報広聴常任委員会では、  
**「住みやすい町を目指して」**  
活動されている方や団体で、このコーナーに掲載して下さる方を募集しています。  
希望される方は下記までご連絡ください。

**第1回定例会は3月2日(木)開会**  
**新型コロナウイルス対策のため傍聴は10席となっております。発熱等症状が  
おありの方はご遠慮ください。**

議会広報広聴常任委員会  
委員長 寺嶋 正  
副委員長 内田 晃  
委員 田代 実  
委員 中野 博  
委員 飯田 一  
委員 齋藤 永

正月も終わり当町では早咲きの桜が順番を待っている季節になりました。皆様方におかれましては、お元気にお過ごしのこととお喜び申し上げます。12月議会も終わりました。今回の提案された主な議案は修正予算8件が審議され、7件は可決されました。町の各施設の指定管理者の指定が4件、松田町個人情報保護に関する件が2件可決されました。その他いくつかの議案が提出され、審議いたしました。議論の末、可決するまでのやり取りを是非議場までお越し頂き傍聴してください。(齋藤)

